

<目次>令和元年度 主要事業等実施の状況及び事務事業評価結果（一般会計）

款	項	目	事務事業名	頁
7	1	1	商工業振興・育成事業	1
7	1	1	市内購買促進事業	4
7	1	1	地元産品販売拡大事業	6
7	1	1	新エネルギー利活用事業	7
7	1	2	企業誘致事業	8
7	1	3	観光イベント推進事業	9
7	1	3	観光振興推進事業	11
7	1	4	陶芸センター管理運営業務	13
7	1	4	健民センター園地管理運営業務	14
7	1	4	滝里湖オートキャンプ場管理運営業務	15
7	1	4	健民センター管理運営業務	17
7	1	4	国設芦別スキー場管理運営業務	19
7	1	4	道の駅等管理運営業務	20
7	1	5	消費者対策事業	22
7	1	6	カナディアンワールド公園管理運営業務	24
7	1	6	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停に基づく償還	25

款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費
事務事業名	商工業振興・育成事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
333,829,712	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				106,198,045	227,631,667
事業目的	地域における商工業の総合的な改善発展を目指し、地域経済の振興発展を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 中小企業者等に対する補助金の交付、業務委託等</p> <p>(1) 芦別商工会議所交付金 5,000,000円</p> <p>(2) 駅前南北駐車場除排雪業務委託 660,330円(実績 除雪回数14回、排雪回数1回)</p> <p>(3) 企業振興事業補助金 6,080,000円</p>				
事業区分	事業内容	補助先又は店舗名	補助金額		
特産品開発事業	さくらんぼビューレの開発	南大橋さくらんぼ園	327,000円		
販路開拓促進事業	自社開発のオリジナル合板「ペーパーウッド」を用いたインテリア製品等の出展・商談 (アメリカ・ニューヨーク「SHOPPE OBJECT」に参加)	滝澤ベニヤ株式会社	632,000円		
	自社開発のオリジナル合板「ペーパーウッド」を用いたインテリア製品等の出展・商談 (台湾・台北市「台北国際建築建材及び産品展」と台中市「HOKKAIDO WOOD」フェアに参加)	滝澤ベニヤ株式会社	166,000円		
起業化支援事業	整体院の開業に向け、取得した家屋を改修、必要機材を購入	松倉 一朗	2,000,000円		
空き地又は空き店舗活用事業	家賃補助 (平成30年度に建物改修工事を実施)	サンクピラ (岡本 知)	家賃 5,000円		
店舗リニューアル事業	店舗改修・増築工事	サロンド・パシオン (伊藤 恵)	2,000,000円		
	外壁・店舗内装改修工事	レストラン・ポロ (岡 直美)	950,000円		
合 計			6,080,000円		

次頁へ続く

(4) 企業振興奨励金 217,951,000円

交付先	区分	取得額	交付率	交付年度	補助金額
株メムコーポレーション	償却資産	22,256,299円	30%以内	第2年度(30%)	1,876,000円
大旺鋼球製造株	家・備	1,013,096,733円	50%以内	第2年度(30%)	30,000,000円
北海道電子工業株	償却資産	49,616,815円	30%以内	第2年度(30%)	4,465,000円
北日本大旺株	償却資産	7,722,400円	30%以内	第2年度(30%)	695,000円
北日本精機株	償却資産	223,033,828円	50%以内	第2年度(30%)	30,000,000円
日本ソーイング株	償却資産	20,101,000円	30%以内	第1年度(70%)	4,221,000円
北海道電子工業株	家・備	241,470,318円	50%以内	第1年度(70%)	70,000,000円
北日本大旺株	償却資産	31,880,524円	30%以内	第1年度(70%)	6,694,000円
北日本精機株	償却資産	222,140,000円	50%以内	第1年度(70%)	70,000,000円
合 計					217,951,000円

(5) 産業振興住宅確保奨励金 919,000円

交付先	区分	戸数	補助率	取得額	補助金額
株ビックボイス	中古	1戸	1/2	2,000,000円	919,000円

2 中小企業者等が必要となる融資資金に係る融資指定金融機関への原資預託、融資に係る保証料の補給

(1) 融資指定金融機関に対する原資預託金

- ① 預託金 100,000,000円
- ② 通常融資枠 300,000,000円 (原資預託金の3倍)
- ③ 特別融資枠 200,000,000円

(2) 貸付内訳 (年度末融資残高)

区分	件数	貸付金額
運転資金	51件	187,898,000円
設備資金	20件	105,722,000円
合 計	71件	293,620,000円

(3) 貸付内訳 (年度内融資額)

区分	件数	貸付金額
運転資金	35件	156,150,000円
設備資金	3件	18,670,000円
合 計	38件	174,820,000円

(4) 助成内容

区分	件数	補給額
保証料	42件	2,565,204円

3 芦別ポイントカード行政連携事業

対象事業名	利用者数	発行ポイント数	負担金
健康教室への参加	355人	10,140ポイント	271,787円
介護予防事業への参加	6,572人	260,300ポイント	

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市補助金等交付条例 芦別市企業振興事業補助金交付条例 芦別市企業振興促進条例 芦別市産業振興住宅確保奨励金交付条例 芦別市中小企業融資条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	企業の経営環境が厳しい中、企業の新たな取組や設備投資等を通じた企業振興を実現させるためには、市の支援等が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	起業や設備投資に対する支援により、経営の安定化と雇用の確保が図られた。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行財政改革の実施に伴い、令和2年度から企業振興事業補助金の補助限度額引き下げのほか、企業振興奨励金の限度額引き下げ及び課税免除期間の短縮を行っている。また、中小企業者等資金融資保証料補給金については、補助額を全額から1/2に削減し、補助金の見直しを図る。
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	中小企業者等資金融資保証料補給金の見直しに伴う削減効果額は1,283千円/年、企業振興奨励金の見直しに伴う削減効果額は21,000千円/年。
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も企業の多様なニーズに対応するため、現在の補助・優遇制度を地元企業に広く周知し、産業の振興を図っていく。		継続	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費																																																											
事務事業名	市内購買促進事業																																																															
決算額(円)	財源内訳(円)																																																															
17,544,255	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																											
			17,500,000		44,255																																																											
事業目的	消費の落ち込み、売上げの減少、市外への購買力流出を防ぐため「買い物は地元で・地元商品愛用強調月間ドリームフェスタ」及び「スーパープレミアム(割増特典付)商品券発行事業」を実施し、商店街、市民一体となり、疲弊している商店街等に活力と消費の回復を図ることにより地域経済の活性化を図る。																																																															
事業内容及び成果	<p>事業実施に対する補助金の交付</p> <p>(1) ドリームフェスタ実施事業</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="4">市内の加盟店舗における買い物、500円で1枚の抽選補助券を配布 抽選補助券10枚につき、1回の福引抽選を実施</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td colspan="4">令和元年12月1日(日)～令和2年1月3日(金)</td> </tr> <tr> <td>参加店</td> <td colspan="4">74店</td> </tr> <tr> <td>販売実績</td> <td colspan="4">114,191,500円</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="4">3,326,252円</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td colspan="4">969,422円</td> </tr> <tr> <td>交付先</td> <td colspan="4">芦別商工会議所</td> </tr> </table> <p>(2) スーパープレミアム(割増特典付)商品券発行事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発行内容</td> <td>1万2千円の商品券を1万円で販売</td> <td>発行総額</td> <td>99,660,000円</td> </tr> <tr> <td>発行総数</td> <td>8,305セット</td> <td>利用実績</td> <td>99,449,000円</td> </tr> <tr> <td>利用期間</td> <td>令和元年10月15日(火)～ 令和元年12月31日(火)</td> <td>利用率</td> <td>99.788%</td> </tr> <tr> <td>換金期間</td> <td>令和元年10月15日(火)～ 令和2年1月22日(水)</td> <td>未利用額</td> <td>211,000円</td> </tr> <tr> <td>交付先</td> <td>芦別商工会議所</td> <td>市補助額</td> <td>16,574,833円</td> </tr> </tbody> </table>					事業内容	市内の加盟店舗における買い物、500円で1枚の抽選補助券を配布 抽選補助券10枚につき、1回の福引抽選を実施				開催期間	令和元年12月1日(日)～令和2年1月3日(金)				参加店	74店				販売実績	114,191,500円				総事業費	3,326,252円				補助金額	969,422円				交付先	芦別商工会議所				区分	内容	区分	金額	発行内容	1万2千円の商品券を1万円で販売	発行総額	99,660,000円	発行総数	8,305セット	利用実績	99,449,000円	利用期間	令和元年10月15日(火)～ 令和元年12月31日(火)	利用率	99.788%	換金期間	令和元年10月15日(火)～ 令和2年1月22日(水)	未利用額	211,000円	交付先	芦別商工会議所	市補助額	16,574,833円
事業内容	市内の加盟店舗における買い物、500円で1枚の抽選補助券を配布 抽選補助券10枚につき、1回の福引抽選を実施																																																															
開催期間	令和元年12月1日(日)～令和2年1月3日(金)																																																															
参加店	74店																																																															
販売実績	114,191,500円																																																															
総事業費	3,326,252円																																																															
補助金額	969,422円																																																															
交付先	芦別商工会議所																																																															
区分	内容	区分	金額																																																													
発行内容	1万2千円の商品券を1万円で販売	発行総額	99,660,000円																																																													
発行総数	8,305セット	利用実績	99,449,000円																																																													
利用期間	令和元年10月15日(火)～ 令和元年12月31日(火)	利用率	99.788%																																																													
換金期間	令和元年10月15日(火)～ 令和2年1月22日(水)	未利用額	211,000円																																																													
交付先	芦別商工会議所	市補助額	16,574,833円																																																													

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市ドリームフェスタ実施事業補助金交付条例 芦別市割増特典付商品券発行事業補助金交付規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	芦別商工会議所が事業主体となり本事業を実施することにより、購買力の市外流出を抑制していることから、支援する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した	ドリームフェスタでは、年末商戦という短期間において、1億円以上の売上は確保しているものの、平成30年度の総売上実績からは7,800千円程度下回る結果となった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行財政改革の実施に伴い、令和元年度をもって、プレミアム付商品券発行事業については休止。(商工会議所からの申出による)さらに、令和2年度をもって、ドリームフェスタの実施に係る運営費補助金を廃止する。
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	プレミアム付き商品券発行事業削減効果額20,000千円/年、ドリームフェスタ実施事業費補助金のコスト削減による効果は令和3年度以降に反映される。
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
市内限定商品券「どんぐり」の利用拡大に向けた積極的なPR活動をはじめ、芦別ポイントカード協同組合と連携した事業の推進を図るほか、各商店街振興組合の自主事業に対する意識醸成を高め、側面支援を行うことにより、今後も域内消費活動の活性化を促進していく。		廃止	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費
事務事業名	地元産品販売拡大事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
521,647	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					521,647
事業目的	地元産品を広く市内外に紹介するとともに、積極的に販路の拡大を図ることにより、地域における産業・経済の活性化を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 市外イベントへの出展によるPR・販売活動</p> <p>(1) 「北の恵み食べマルシェ2019」への出展 令和元年9月14日(土)～16日(月) 旭川市(買物公園)</p> <p>(2) 「なかぞらち大収穫祭」への出展 令和元年9月15日(日)～16日(月) 砂川市(ハイウェイオアシス)</p> <p>(3) 「さっほろオータムフェスト2019」への出展 令和元年9月26日(木)～29日(日) 札幌市(大通公園)</p> <p>2 芦別にゆかりのある市外企業や個人を訪問、または芦別へ訪問された際の土産産品として地元産品を積極的に活用し、広くPRした。</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市補助金等交付条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	地場企業の活動を市内外に向けてPRすることは、産業の育成、販路の拡大を図るうえで必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>	総合判定	
道内の主要物産イベントでは、民間事業者同士が連携を図り、自主的な参加を行える環境整備を進めていく。また、多様な商談会等への参加を促し、販路の拡充と生産体制の充実を目指していく。さらに、北海道やサハリン文化経済戦略協議会との連携により、海外への販路拡大の取組を進めていく。	継 続	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費
事務事業名	新エネルギー利活用事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	地域新エネルギービジョン、環境基本条例及び環境基本計画に基づき、本市の豊かな自然環境を活用した新エネルギーの有効利用を図る。				
事業内容及び成果	導入済みの木質チップボイラー（健民センター）の燃料となる原材料の安定的な確保に向け、関係機関との連携を図った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	環境基本条例、環境基本計画	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	木質チップ燃料となる原材料の安定的な確保を行うため、関係機関と連携し取り組む必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
木質チップの原材料の安定的な確保に向け、関係機関との連携を図っていく。		継 続

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 企業誘致費
事務事業名	企業誘致事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,010,300	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				1,000	1,009,300
事業目的	企業誘致を積極的に推進することにより、本市経済の活性化、雇用の確保及び地域振興に資する。				
事業内容及び成果	<p>企業誘致委員会の開催、企業訪問の実施等</p> <p>(1) 企業訪問 道外(東京都・愛知県・沖縄県)計5社</p> <p>(2) 北海道ビジネスセミナー参加 令和2年1月30日(木)(愛知県 参加企業 延べ57社)</p> <p>(3) 芦別市企業誘致委員会開催(1回開催)</p> <p>(4) 芦別工業団地清掃等管理業務委託(草刈2回、排水溝清掃1回) 626,400円</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市企業誘致委員会条例			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	地域経済の活性化、雇用の場の確保など、地域の振興を図るために企業誘致を行う必要がある。		
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—		
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
<今後の方向性>				総合判定
企業立地や既存企業の事業拡大に対する支援制度を積極的にPRし、効果的な活動を展開する。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、テレワークやワーケーションに取り組む企業の受け入れを推進していく。				継続

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 星の降る里観光費																
事務事業名	観光イベント推進事業																				
決算額(円)	財源内訳(円)																				
8,988,902	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																
			7,900,000	1,000,000	88,902																
事業目的	健夏まつり、キラキラ☆フェスタあしべつ開催を支援し、観光客の誘致活動及び市民活力の向上を図る。																				
事業内容及び成果	<p>健夏まつりの開催委託、キラキラ☆フェスタあしべつ実行委員会に対する開催補助金の交付</p> <p>(1) 第50回星の降る里・芦別健夏まつり開催業務委託(委託先 星の降る里・芦別健夏まつり実行委員会)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>場所</th> <th>事業概要</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月20日(土) ～21日(日)</td> <td>駅前通ほか</td> <td> 土曜日 市内小・中・高等学校演奏会、 民謡のつどい、歌謡のど自慢、 健夏山笠ほか 日曜日 騎士竜戦隊リュウソウジャーショー、 芦別獅子舞、芦別子供太鼓演奏会、 芦別市民吹奏楽団演奏会、芦別名物 さくらんぼ種飛ばし大会、千人踊り、 50回記念事業人文字「令和」で 記念撮影 ほか 参加人員 延4,025人 </td> <td>5,988,902円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) キラキラ☆フェスタあしべつ開催補助(補助先 キラキラ☆フェスタあしべつ実行委員会)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>場所</th> <th>事業概要</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年8月3日(土)</td> <td>国設芦別スキー場</td> <td>芦別高校の生徒・市内の活動団体のステージイベント、花火、レーザーショーほか 観客数 延6,079人</td> <td>3,000,000円</td> </tr> </tbody> </table>					実施期間	場所	事業概要	委託金額	令和元年7月20日(土) ～21日(日)	駅前通ほか	土曜日 市内小・中・高等学校演奏会、 民謡のつどい、歌謡のど自慢、 健夏山笠ほか 日曜日 騎士竜戦隊リュウソウジャーショー、 芦別獅子舞、芦別子供太鼓演奏会、 芦別市民吹奏楽団演奏会、芦別名物 さくらんぼ種飛ばし大会、千人踊り、 50回記念事業人文字「令和」で 記念撮影 ほか 参加人員 延4,025人	5,988,902円	実施期間	場所	事業概要	補助金額	令和元年8月3日(土)	国設芦別スキー場	芦別高校の生徒・市内の活動団体のステージイベント、花火、レーザーショーほか 観客数 延6,079人	3,000,000円
実施期間	場所	事業概要	委託金額																		
令和元年7月20日(土) ～21日(日)	駅前通ほか	土曜日 市内小・中・高等学校演奏会、 民謡のつどい、歌謡のど自慢、 健夏山笠ほか 日曜日 騎士竜戦隊リュウソウジャーショー、 芦別獅子舞、芦別子供太鼓演奏会、 芦別市民吹奏楽団演奏会、芦別名物 さくらんぼ種飛ばし大会、千人踊り、 50回記念事業人文字「令和」で 記念撮影 ほか 参加人員 延4,025人	5,988,902円																		
実施期間	場所	事業概要	補助金額																		
令和元年8月3日(土)	国設芦別スキー場	芦別高校の生徒・市内の活動団体のステージイベント、花火、レーザーショーほか 観客数 延6,079人	3,000,000円																		

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	イベントの開催を支援することで、観光客の誘致及び市民活力が向上し、にぎわい創出を図ることができる。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	議会や行政改革推進委員会より、健夏まつりの開催について、集客・経済効果が見えない中では、日程の短縮など見直しを検討すべきとの提言を受けている。
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
上記の提言を踏まえ、令和元年度に実施した健夏まつりアンケート調査結果や参加団体との意見交換等を通じてあり方を検討していく。また、キラキラ☆フェスタあしべつについては、今後も事業内容の検討・充実によるイベントの魅力向上を図っていく。		継 続

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 星の降る里観光費
事務事業名		観光振興推進事業			
決算額(円)		財源内訳(円)			
18,623,926		国庫支出金	道支出金	市債	その他 一般財源
				1,500,000	1,710,937 15,412,989
事業目的					
観光客の来訪促進や星の降る里芦別の魅力を発信するため、広域PRの強化を図るほか、芦別観光協会などの関係団体と連携を図り、観光事業の発展や観光客の誘致による産業経済の発展に寄与する。また、あさひかわ観光誘致宣伝協議会などの市外関係団体とも広域的な連携を深め、観光客の誘致に効果的な体制の整備を図り、各種共同事業を展開する。					
事業内容及び成果					
1 観光パンフレットの作成、配布及びホームページの活用等による観光情報発信					
(1) 星の降る里芦別観光事業の委託(委託先 (一社) 芦別観光協会)					
委託業務名	主な事業名	実施期間	事業の概要		
星の降る里・芦別村民募集業務	村民募集・受付業務	通年	令和元年度会員 199人		
星の降る里観光宣伝事業等業務	1 観光宣伝戦略業務 2 景勝地等案内看板設置業務	通年	1 STVラジオ「しゃかりき!ようへい商店」スポンサー業務、TOUR OF KAMUI EXTRA 北空知・深川大会(北海道スイーツライドin北&中そらち代替行事)運営業務、芦別観光専用ホームページ維持更新業務、芦別観光パンフレット作成業務 2 景勝地案内看板設置・撤去業務		
(2) 観光施設整備及び維持管理					
① 暗通イルミネーション・駅前歓迎塔等の電気料負担					
② 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁展示用地の土地借上料負担					
③ 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁展示用地の草刈(委託先 芦別市森林組合)					
委託業務名	主な業務	実施期間	事業の概要	委託金額	
機関車等の保存展示用地草刈業務	機関車等展示用地の草刈	6月中旬と8月下旬の2回	機関車等展示用地の草刈	99,360円	
④ 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁展示用地の巡視業務(委託先 西芦別2区町内会)					
観覧者の利便性確保のため、主要道道芦別砂川線の通行止めゲートから展示用地までの区間を1か月間試験的に時間開放するために実施。					
委託業務名	主な業務	実施期間	事業の概要	委託金額	
機関車等保存展示用地等巡視業務	機関車等展示用地等の巡視	令和元年9月14日～10月14日	開放期間の毎日 ①本ゲートの開錠・施錠 ②開放区間の清掃及び巡視	43,733円	
(3) 観光・イベント周知宣伝事業					
① 観光イベント周知					
区分	枚数	設置先			
イベント等PRのぼり設置	17枚	こだま公園			
② 観光周知、宣伝事業の実施 各種新聞、雑誌広告掲載					

次頁へ続く

③ 観光関係団体との連携、活動促進

- ア (一社) 芦別観光協会との連携
- イ (公社) 北海道観光振興機構との連携
- ウ あさひかわ観光誘致宣伝協議会との広域的な連携
- エ 東空知観光周遊ルート創出推進協議会による広域的な連携
- オ 自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会との広域的な連携

④ 駅前歓迎塔の清掃美化 (委託先 本町老人クラブ明友会)

委託業務名	主な業務	実施期間	事業の概要	委託金額
駅前歓迎塔清掃 美化等管理業務	花壇等清掃美 化管理業務	通 年	① 駅前歓迎塔等清掃管理 ② 曙通イルミネーション等花壇清掃	193,236円

(1) (一社) 芦別観光協会への団体運営補助 13,908,751円

(5) 学生地域定着推進事業

江別市内の大学から学生を招聘し、観光施策の検証事業を実施した。

① 対象大学

- ア 酪農学園大学
- イ 札幌学院大学
- ウ 北海道情報大学
- エ 北翔大学・北翔大学短期大学部

② 観光モニタリングツアー実施状況

- ・日 時：令和元年8月19日(月)～21日(水) 2泊3日
- ・参加者：北翔大学 2名
- ・内 容：観光名所・施設見学、陶芸体験、農業収穫体験など

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければなら ない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い <input type="checkbox"/> 普 通 <input type="checkbox"/> 低 い	観光振興により、高い経済波及効果が期待されることから実施する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図ら れているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数が前年度より減少した。	
3. 要望 (市民・団体・議会から の要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会より、芦別観光協会の将来的な自立に向け、市の財政的な支援は漸次減らす方向で検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・ 改革等)の取組	事務事業 の休止・廃 止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト縮 減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業 との統合 や民間委 託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も芦別観光協会や関係団体との連携を図り、観光事業の振興により地域経済の活性化を目指していく。なお、上記の提言を踏まえ、観光協会に対する交付金の見直しを図っている。			継 続

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費																	
事務事業名	陶芸センター管理運営業務																					
決算額(円)	財源内訳(円)																					
7,933,308	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																	
				457,162	7,476,146																	
事業目的	陶芸品の制作加工を地場産業として育成し、その制作活動を通じて市民の生活文化の向上を図るため、施設の適正な管理・運営を行う。																					
事業内容及び成果	<p>芦別市陶芸センターの適正な管理・運営</p> <p>(1) 陶芸センターの管理運営</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>日数・人数</th> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td>285日</td> </tr> <tr> <td>陶芸利用者</td> <td>624人</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>972人</td> </tr> </table> <p>※新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月5日から31日までを休館とした。</p> <p>(2) 陶芸講座の開設</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>講座開設数</th> <th>受講者数</th> </tr> <tr> <td>初級講座</td> <td>47回</td> <td>延 136人</td> </tr> <tr> <td>中級講座</td> <td>48回</td> <td>延 305人</td> </tr> </table>					区分	日数・人数	開館日数	285日	陶芸利用者	624人	見学者	972人	区分	講座開設数	受講者数	初級講座	47回	延 136人	中級講座	48回	延 305人
区分	日数・人数																					
開館日数	285日																					
陶芸利用者	624人																					
見学者	972人																					
区分	講座開設数	受講者数																				
初級講座	47回	延 136人																				
中級講座	48回	延 305人																				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市陶芸センター条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	陶芸品の制作加工を地場産業として育成し、その制作活動を通じて市民の生活文化の向上を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した	新型コロナウイルス感染症の影響による開館日数及び陶芸講座開設数の減少等に伴い、利用者数は前年度と比較して392人減少している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会より、開館日を減らして経費の削減を図るか、温泉客が利用するという相乗効果が期待できる場合はPR等に努めるよう提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
上記の提言も踏まえ、指定管理者である北海道ホテル&リゾート㈱と連携し、陶芸センターのPRによる利用者の増加や、施設の設置効果の向上が図られるよう、事業内容や周知宣伝内容を検討していく。		継続	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費
事務事業名	健民センター園地管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
15,295,938	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				102,611	15,193,327
事業目的	市民及び観光客等の保健休養地として整備し、観光客誘致の促進及び地域の活性化を図る。				
事業内容及び成果	健民センター園地の適正な管理・運営を図るため、管理業務を委託した。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の福祉の向上及び観光客の誘致促進により、健民センターと一体となって地域の活性化を図ることに寄与している。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も保健休養地としての設置効果と維持管理経費の均衡を図りながら、施設の適正な管理運営に努めていく。		継続	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費
事務事業名	滝里湖オートキャンプ場管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
31,735,794	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
	18,622,678			13,086,854	26,262
事業目的	市民及び観光客等のレクリエーション施設として管理運営し、観光客誘致の促進と地域活性化を図る。				
事業内容及び成果	滝里湖オートキャンプ場施設の安全管理と環境整備				
	(1) オートキャンプ場管理業務				
	① 開設日数等				
	区 分	日数・人員			
	開設日数	137日			
	利用者	大人	5,200人		
		子供	1,832人		
		合計	7,032人		
	② サイト別利用状況				
	サイト名	利用人員			
	キャンピングカーサイトA	470人(大人 328人 子供 142人)			
	スタンダードカーサイトB	2,088人(大人1,527人 子供 561人)			
	スタンダードカーサイトC	1,746人(大人1,293人 子供 453人)			
	二輪車等専用フリーサイト	94人(大人 92人 子供 2人)			
	コテージ(6人用)	1,217人(大人 923人 子供 294人)			
	コテージ(8人用)	1,417人(大人1,037人 子供 380人)			
	合計	延7,032人(大人 5,200人 子供 1,832人)			
	(2) 滝里ダム防災施設(旧滝里ダム資料館)維持管理業務委託				
	開設日数等				
	区 分	日数・人員			
	開設日数	188日			
	利用者	大人	4,901人		
		子供	1,994人		
		合計	6,895人		
	(3) 滝里湖オートキャンプ場修繕内容				
	・ 漏水修繕、キャンプサイト芝生補修 ほか				

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市オートキャンプ場条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民や観光客が広く利用できるレクリエーションの場として、観光客誘致の促進と地域活性化を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	施設の安全管理及び環境管理が適正に行われており、前年度と比較してサイト利用者数は1,798人、滝里ダム防災施設の入館者数は1,756人増加している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、夏場の利用が非常に多く、大いに活用されていることから、今後も観光施設としての役割は大きいとの提言を受けている。	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も市民及び自然志向をもつ観光客等からのレクリエーション施設としての需要が見込めることから、上記の提言も踏まえ、利用者の安全確保と環境維持を図りながら施設の管理運営に努め、さらなる利用者の増加を図っていく。		継 続	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費
事務事業名	健民センター管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
447,210,747	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
			429,200,000	1,722,804	16,287,943
事業目的	市民及び観光客の保健休養地として、諸施設の適正な管理・運営により、本市観光産業の振興を図る。				
事業内容及び成果	<p>健民センター施設の安全管理と環境整備</p> <p>(1) 健民センター施設整備事業</p> <p>① 星遊館改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業期間／平成30年度から令和元年度まで(継続費設定) ■工事費／424,293,930円(全体契約額492,447,600円) <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事／機械室棟新設、寝湯新設、壺風呂新設、塩サウナ室新設、浴室・脱衣室及び露天風呂改修、屋根屋上防水ほか ・電気設備工事／機械棟内部設備、浴室・脱衣室等LED化ほか ・機械設備工事／熱交換器等旧設備の撤去及び更新、配管新設、休憩室冷房設備新設ほか ■工事監理業務委託料／4,971,600円(全体契約額6,264,000円) <p>② 温泉とホテルのリニューアルオープン</p> <ul style="list-style-type: none"> ■おふろcaféブランドの導入 <p>芦別市健民センターの指定管理者である北海道ホテル&リゾート株が、(株)温泉道場(本社/埼玉県)とフランチャイズ加盟契約を締結し、リニューアルオープンを機に北海道初の「おふろcafé」として運営を開始し、無料のコーヒーや雑誌・コミックを提供し、長時間滞在を促すサービスを開始した。</p> ■星遊館 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事に伴う休館期間 令和元年 8月21日～12月20日 ・市民限定先行オープン 令和元年12月21日～12月22日 ・グランドオープン 令和元年12月23日 ■芦別温泉スターライトホテル <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の費用負担により大規模改装工事を実施し、令和元年12月23日にリニューアルオープンした。 ・事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 1階／エントランスロビー及びレストランの全面改修ほか 2階／上足仕様のためカーペット張替 3階～6階／上足仕様のためカーペット張替 <p>(2) 健民センター修繕内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 油谷体育館暗幕カーテン取替修繕 ② 健民センター管理住宅屋根修繕 ③ スターライトホテルブルースカイ空調機用熱交換器修繕 ④ スターライトホテルトップライト取替修繕 ほか 				

次頁へ続く

(3) 施設別利用状況

施設名	利用人員	備考
芦別温泉	53,250人	
スターライトホテル	16,843人	
国民宿舎	5,774人	
星遊館	66,836人	
油谷体育館	8,628人	
焼肉ガーデン	972人	開設期間 5月1日(水)～8月23日(金)

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市健民センター条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	指定管理者である北海道ホテル&リゾート様と連携を図りながら、市民の健康増進の場及び観光客誘致の拠点として適正に管理運営を続けていく必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	健民センター施設の老朽化に伴う大規模なリニューアル工事の実施により、保健休養地としての魅力向上に加えて、本市の観光産業の振興が図られている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、2つの温泉を維持するには経費もかかるため、芦別温泉を星遊館に一本化することを検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	温泉経営の効率化を図る観点及び行財政改革を進めるにあたり、令和2年4月18日から芦別温泉を休止した。
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	利用料金制による指定管理委託のため、芦別温泉の休止に係るコスト削減額の算出は不可。
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
北海道ホテル&リゾート様と連携を図りながら、リニューアルした施設の周知宣伝等による利用者の増加に努めるとともに、市民の健康増進及び観光振興の場としての設置効果が発揮できるよう、管理運営を行っていく。		継続	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費
事務事業名	国設芦別スキー場管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
16,420,665	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				5,487,410	10,933,255
事業目的	スキー場の整備・管理運営を行い、市民及び観光客のレクリエーションの場の確保と観光振興を図る。				
事業内容及び成果	<p>国設芦別スキー場の適正な管理・運営</p> <p>(1) 国設芦別スキー場修繕内容 圧雪車修繕</p> <p>(2) 国設芦別スキー場利用状況</p> <p>① 開設期間 令和2年1月3日(金)～令和2年3月4日(水)</p> <p>② 開設日数 54日</p> <p>③ 利用者 53,128人</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月4日をもって営業を終了した。</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	国設芦別スキー場条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民及び観光客のレクリエーション及び冬期間における健康増進の場として親しまれているが、市が直営実施する理由はない。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した	積雪不足によりオープンが遅れたことに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため営業期間を短縮したことにより、売上額と利用者数が大幅に低下した。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行財政改革の実施に伴い、令和2年度から休止している。
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	国設芦別スキー場維持管理費等の削減効果額10,667千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
施設の老朽化に伴い維持補修費が多額となることから、市直営による運営を断念し、条例改正により令和2年度から指定管理者の公募を行ったが、応募者がいなかったため休止する。なお、令和3年度も引き続き指定管理者の公募を行っていく。		休 止	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費																						
事務事業名	道の駅等管理運営業務																										
決算額(円)	財源内訳(円)																										
30,364,781	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																						
				3,300,240	27,064,541																						
事業目的	道の駅の整備、管理・運営を行い、市民及び観光客に対するサービスの提供により地域活性化を図る。																										
事業内容及び成果	<p>1 道の駅連絡会との連携、施設の有効活用 関係団体との連携 北海道地区「道の駅」連絡会との連携</p> <p>2 緑地等管理中央センターの適正な管理・運営 (1) 観光物産センター利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">入館者数</th> <th colspan="2">目的別利用状況</th> <th rowspan="2">営業 日数</th> <th colspan="2">1日平均</th> <th colspan="2">加工室</th> </tr> <tr> <th>レストラン</th> <th>売店</th> <th>レストラン</th> <th>売店</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>104,306人</td> <td>58,550食</td> <td>45,756人</td> <td>360日</td> <td>163食</td> <td>127人</td> <td>120件</td> <td>468人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 修繕内容 ① 観光物産センタートイレ修繕(和式便器の洋式化) ② 農畜産物加工室圧力容器盖板修繕 ③ 観光物産センター小荷物専用昇降機部品交換修繕 ほか</p> <p>3 子育て応援自動販売機の設置に係る協定締結式及び除幕式の開催 国土交通省が掲げる道の駅における子育て応援施策に基づき、芦別市と北海道開発局札幌開発建設部、北海道コカ・コーラボトリング㈱の3者による協働事業として、道の駅内の屋外公衆トイレに紙おむつや液体ミルクなどを24時間購入できる「子育て応援自動販売機」を設置し、設置日に協定締結式と除幕式を開催した。 開催日時：令和元年10月31日(木) 午後1時15分から午後1時45分まで</p> <p>4 第3回「産直交流うまいもんフェア」の開催(一社)芦別観光協会(指定管理者)自主事業 道の駅「スタープラザ芦別」にて芦別市及び白糠郡白糠町の特産品即売会を行い、産地間交流を深め、道の駅の集客・販路の拡大、売上向上を図った。 開催日時：令和元年11月2日(土)～3日(日) 午前9時～午後4時</p>					入館者数	目的別利用状況		営業 日数	1日平均		加工室		レストラン	売店	レストラン	売店	件数	人数	104,306人	58,550食	45,756人	360日	163食	127人	120件	468人
入館者数	目的別利用状況		営業 日数	1日平均			加工室																				
	レストラン	売店		レストラン	売店	件数	人数																				
104,306人	58,550食	45,756人	360日	163食	127人	120件	468人																				

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市緑地等管理中央センター条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	本市の観光拠点として指定管理者である芦別観光協会と連携を図りながら、適正に管理運営を続けていく必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少し、利用者数は前年と比較して10,001人減少している。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、本市の顔としての役割を担っている道の駅の老朽化が進んでいるものの、運営方法の見直しを行いながら、今後も魅力を高めていくよう提言を受けている。
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <p style="text-align: center;">—</p>
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <p style="text-align: center;">—</p>
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <p style="text-align: center;">—</p>
<今後の方向性>		総合判定
上記の提言を踏まえ、指定管理者である芦別観光協会と連携を図り、今後も適正な施設の管理運営を行いながら、集客力の向上に努めていく。また、高齢化の進展や外国人利用者の増加等に伴い、令和2年度に屋外公衆トイレの洋式化や照明設備のLED化を実施することにより、施設の魅力を高めていく。		継 続

款	7 商工費	項	1 商工費	目	5 消費者対策費																																																																												
事務事業名	消費者対策事業																																																																																
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																																
1,271,468	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																												
					1,271,468																																																																												
事業目的	市民が安全・安心な暮らしができるように、暮らしに役立つ情報等を提供することを目的とする。																																																																																
事業内容及び成果	<p>悪質な詐欺等の被害を未然に防ぐため、暮らしに役立つ情報を提供した。</p> <p>(1) 各種講座・会議の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行事</th> <th>開催期日</th> <th>場所</th> <th>対象者</th> <th>開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域を回るくらしの講座</td> <td>通年</td> <td>市内</td> <td>一般市民</td> <td>7回</td> <td>139人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 消費生活相談情報紙の発行</p> <p>① 目的 消費者(市民)の皆さんが詐欺被害に遭わないよう未然防止を図る</p> <p>② 発行頻度 2カ月に1回(偶数月)</p> <p>③ 発行方法 広報あしべつ配布時に町内会回覧</p> <p>(3) 振り込み詐欺等被害防止に係る街頭啓発</p> <p>① 目的 市民が振り込み詐欺等の被害に遭わないよう未然防止を図る</p> <p>② 実施日 年金支給日(偶数月の15日【15日が土・日曜日、祝祭日の場合は前日】)</p> <p>③ 実施内容 芦別警察署及び芦別市防犯協会と連携し、街頭(市内銀行前)にて、振り込み詐欺等被害防止啓発グッズ等を市民に配布</p> <p>(4) 消費生活相談業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>件数</th> <th>内容</th> <th>件数</th> <th>内容</th> <th>件数</th> <th>内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商品一般</td> <td>16</td> <td>車両・乗り物</td> <td>1</td> <td>役務一般</td> <td>0</td> <td>内職・副業・ねずみ講</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>食料品</td> <td>1</td> <td>土地・建物・設備</td> <td>2</td> <td>金融・保険サービス</td> <td>2</td> <td>他の相談</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>住居品</td> <td>2</td> <td>クリーニング</td> <td>0</td> <td>運輸・通信サービス</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>光熱水品</td> <td>1</td> <td>レンタル・リース・貸借</td> <td>2</td> <td>教育サービス</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被服品</td> <td>3</td> <td>工事・建設・加工</td> <td>1</td> <td>教養・娯楽サービス</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健衛生品</td> <td>1</td> <td>修理・補修</td> <td>1</td> <td>保健・福祉サービス</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教養娯楽品</td> <td>3</td> <td>管理・保管</td> <td>0</td> <td>他の役務</td> <td>2</td> <td>合計</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table>					行事	開催期日	場所	対象者	開催回数	参加者	地域を回るくらしの講座	通年	市内	一般市民	7回	139人	内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数	商品一般	16	車両・乗り物	1	役務一般	0	内職・副業・ねずみ講	1	食料品	1	土地・建物・設備	2	金融・保険サービス	2	他の相談	4	住居品	2	クリーニング	0	運輸・通信サービス	10			光熱水品	1	レンタル・リース・貸借	2	教育サービス	1			被服品	3	工事・建設・加工	1	教養・娯楽サービス	1			保健衛生品	1	修理・補修	1	保健・福祉サービス	1			教養娯楽品	3	管理・保管	0	他の役務	2	合計	56
行事	開催期日	場所	対象者	開催回数	参加者																																																																												
地域を回るくらしの講座	通年	市内	一般市民	7回	139人																																																																												
内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数																																																																										
商品一般	16	車両・乗り物	1	役務一般	0	内職・副業・ねずみ講	1																																																																										
食料品	1	土地・建物・設備	2	金融・保険サービス	2	他の相談	4																																																																										
住居品	2	クリーニング	0	運輸・通信サービス	10																																																																												
光熱水品	1	レンタル・リース・貸借	2	教育サービス	1																																																																												
被服品	3	工事・建設・加工	1	教養・娯楽サービス	1																																																																												
保健衛生品	1	修理・補修	1	保健・福祉サービス	1																																																																												
教養娯楽品	3	管理・保管	0	他の役務	2	合計	56																																																																										

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民が安全・安心な暮らしができるよう、消費生活や悪質な詐欺に関する情報の提供及び啓発活動を行う必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
悪質商法や特殊詐欺の被害を未然に防止するため、今後もくらしの講座の開催、消費生活相談情報の発行、年金支給日における街頭啓発といった啓発事業を実施し、消費生活に関する最新の情報を市民へ提供していく。			継 続

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 カナディアンワールド費																														
事務事業名	カナディアンワールド公園管理運営業務																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																		
13,602,642	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
				896,807	12,705,835																														
事業目的	適切な施設等の維持管理により、魅力的な施設として集客を図る。																																		
事業内容及び成果	<p>カナディアンワールド公園の適切な維持管理</p> <p>(1) 修繕内容 カナディアンワールド公園浄化槽調整ポンプ (No. 2) 修繕 ほか</p> <p>(2) 利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="5">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開園期間</td> <td>177日間</td> <td colspan="4">4月27日(土)～10月20日(日)</td> </tr> <tr> <td>入園者数</td> <td>18,997人</td> <td>4月 1,055人</td> <td>5月 3,164人</td> <td>6月 2,165人</td> <td>7月 2,760人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>8月 4,075人</td> <td>9月 2,521人</td> <td>10月 3,257人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イベント等</td> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・mini fes 2019 日時：令和元年7月28日(日) 午前11時～午後4時 内容：手作り雑貨・飲食の販売、アコースティックライブ など ・カナディアンワールドに花を咲かせよう!! 2019 日時：令和元年10月5日(土) 午前8時30分～10時30分 内容：公園内での花の種まきボランティア </td> </tr> </tbody> </table>					区分	内 容					開園期間	177日間	4月27日(土)～10月20日(日)				入園者数	18,997人	4月 1,055人	5月 3,164人	6月 2,165人	7月 2,760人			8月 4,075人	9月 2,521人	10月 3,257人		イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ・mini fes 2019 日時：令和元年7月28日(日) 午前11時～午後4時 内容：手作り雑貨・飲食の販売、アコースティックライブ など ・カナディアンワールドに花を咲かせよう!! 2019 日時：令和元年10月5日(土) 午前8時30分～10時30分 内容：公園内での花の種まきボランティア 				
区分	内 容																																		
開園期間	177日間	4月27日(土)～10月20日(日)																																	
入園者数	18,997人	4月 1,055人	5月 3,164人	6月 2,165人	7月 2,760人																														
		8月 4,075人	9月 2,521人	10月 3,257人																															
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ・mini fes 2019 日時：令和元年7月28日(日) 午前11時～午後4時 内容：手作り雑貨・飲食の販売、アコースティックライブ など ・カナディアンワールドに花を咲かせよう!! 2019 日時：令和元年10月5日(土) 午前8時30分～10時30分 内容：公園内での花の種まきボランティア 																																		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市普通公園条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民や観光客が利用する公園及び観光スポットとして、本市の地域活性化に寄与している。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	閉園の情報を聞いた観光客等が多く来訪したことから、利用人数が前年度より6,027人増加した。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、施設の老朽化に伴い、今後修繕費が増加していくことが見込まれることから、存続すべき施設ではないと提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	カナディアンワールド公園市民検討委員会や行政改革推進委員会の提言等を踏まえ、令和元年度末で公園を廃止した。
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	カナディアンワールド公園維持管理費等の削減効果額 10,137千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
施設の老朽化等に伴い、令和元年度末でカナディアンワールド公園を廃止したが、令和2年度からはカナディアンワールド振興会が市と無償貸借契約を締結する中で、同振興会が自主的な運営を行っている。		廃止	

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 カナディアンワールド費
事務事業名	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停に基づく償還				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
170,997,249	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					170,997,249
事業目的	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停の決定に基づき、各金融機関に対する債務を市が直接償還を行う。				
事業内容及び成果	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停に基づき、各金融機関に対する債務の償還を行った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	株式会社星の降る里芦別の債務弁済調停の決定に基づき、各金融機関に対する債務を市が償還する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
令和8年度まで償還を継続する。			継 続